



学校だより

浮舟

u k i f u n e

令和5年2月22日
第42号

〒979-2157
南相馬市小高区吉名字中坪1

TEL 0244-44-2023

令和5年度学校教育目標が決まりました

次年度教育課程編成全体協議会を重ね、令和5年度学校教育目標、重点目標を以下の通り決定しました。新しい時代の始まりに向け、学校教育も新たなステージへと進んでまいります。

『自律』『創造』『協働』

「自律」とは、

主体的に社会や世界と関わり、よりよい人生を送る(Well-being*)ための重要な資質と捉えます。成年年齢や選挙権年齢が18歳引き下げに伴い、生徒自身が自己決定権を尊重し、積極的な社会参画を行うことができる力が求められています。また、「自律」を目標に据えることにより、学びに向かう力や人間性等の観点のもと、グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成を目指します。 Well-being*=経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいと捉える考え方

「創造」とは、

学んだ知識や技能を思考し、判断し、表現することを通じ、新たな価値を創造するまでのプロセスを包括します。予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという視点から、「持続可能な社会の創り手」という学習指導要領前文に定められた目指すべき姿の実現を目指す重要な一端を担う力となります。

「協働」とは、

社会の多様化が進む中、障害の有無や年齢、文化的・言語的背景、家庭環境などにかかわらず、誰一人取り残すことなく、かつ自分や他者の良さを失うことなく、集団として最大限の力を発揮できるよう協力し、目標を定めた明確な取組をすることにより、成果を上げることを意味します。

令和5年度 重点目標

思いやりを持ち、共に学び高め合おう

重点目標に込められた思い・願い

互いに思いやりのある態度で接することで自己肯定感や自己有用感を味わい、互いを必要な存在として認めた上で協働して学びに向かう場を共有することにより、さらに高い知識や技能を生かし、新たな価値を創造しようとする自律した人に溢れた学校とする。

生徒間だけでなく、生徒と保護者、生徒と教師、保護者と教師そして学校と地域が共有し、実現に向けて一体となって取り組む重点目標です。

【具体的な取組として】

- 「思いやりを持ち」 ⇒ 道徳教育の充実、生徒会活動等における自治的活動の推進
- 「共に学び」 ⇒ 意味のある協働学習の導入、異年齢集団等交流学習の充実
- 「高め合おう」 ⇒ 学んだことを活用する場面の設定、新たな表現機会の設定